

(参考様式3)

会 議 録 (要約)

会議の名称	第17期第8回東村山市立公民館運営審議会				
開催日時	平成26年8月18日(月) 18時～20時				
開催場所	中央公民館 第3集会室				
出席者 及び欠席者	●出席者： (委員) 倉田会長・辻副会長・縣・遠藤・小松・滝川・永吉・村上各委員 (市事務局) 曾我教育部長・肥沼教育次長・前田館長・鈴木館長補佐・小山萩山地区館長・田中秋津地区館長・時岡廻田地区館長・倉本事業係長・小山主事 ●欠席者： (委員) 高野・齋藤委員 (市事務局) 川嶋富士見地区館長				
傍聴の可否	傍聴可能	傍聴不可の場合はその理由		傍聴者数	0名
会議次第	1 あいさつ 2 報告事項 (1) 平成26年度 東京都公民館連絡協議会 委員部会 第1回(4月定例会) 運営委員会 (4/30) (2) 平成26年度 東京都公民館連絡協議会 委員部会 第2回(5月定例会) 運営委員会 (5/28) (3) 平成26年度 東京都公民館連絡協議会 委員部会 第3回(6月定例会) 運営委員会 (6/25) (4) 平成26年度 東京都公民館連絡協議会 委員部会 第4回(7月定例会) 運営委員会 (7/19) (5) 平成26年度 東京都公民館連絡協議会 委員部会 第1回研修会 (7/19) (6) 平成26年度 東京都公民館連絡協議会 委員部会 第5回(8月定例会) 運営委員会 (8/24) (7) 平成26年度東京都公民館連絡協議会 職員部会 第1回 4/24				

	<p>(8) 平成26年度東京都公民館連絡協議会 職員部会 第2回 5/15</p> <p>(9) 平成26年度東京都公民館連絡協議会 職員部会 第3回 6/19</p> <p>(10) 平成26年度東京都公民館連絡協議会 職員部会 第4回 7/17</p> <p>(11) 平成26年度東京都公民館連絡協議会 職員部会 第5回 8/21</p> <p>(12) 平成26年度東京都公民館連絡協議会 役員会 第1回役員会 5/21</p> <p>(13) 平成26年度東京都公民館連絡協議会 役員会 第2回役員会 7/16</p> <p>(14) 耐震化工事関係 ・説明会 6/25 ・進捗状況</p> <p>(15) その他 ・市民講座 ・ロビーコンサートの実施</p> <p>3 審議事項</p> <p>(1) 検討課題について(継続審議事項)</p> <p>(2) 第36回全国公民館研究集会 in 埼玉</p> <p>(3) 18期 公運審委員について</p> <p>(4) その他</p> <p>4 その他</p> <p style="text-align: center;">次回日程等</p>
--	---

会 議 経 過 (要約)

1 あいさつ

倉田会長、曾我教育部長、前田公民館長より

2 報告事項

- ・都公連委員部会（4月定例会～7月定例会）について倉田会長より報告。
- ・都公連職員部会（第1回～第4回）について倉本事業係長より報告。
- ・都公連役員会（第1回）について前田公民館長より報告。

【前田公民館長】

来年度の関東甲信越静公民館研究大会では東村山市が会長市となっているが、中央公民館では耐震化工事を行うため、他市を会場として11月14日土曜日に開催する予定である。

- ・耐震化工事について

【鈴木館長補佐】

平成26年6月25日に利用者説明会を行った。午前、午後の二回行い、約80団体の参加があった。説明会では、耐震化工事の理由と工法の説明、工事に伴う休館のお知らせと、抽選・随時予約についてのお知らせ、市内の地区公民館等施設や、近隣市でホールがある施設のご案内をさせていただいた。

利用者からいただいた意見の中に、他の施設を優先的に利用できないかというものがあったが、市内の施設については、それぞれの施設のルールのもと利用していただきたい。また、市外の施設についても、東村山市のほうから、中央公民館利用者について優先的な措置を行うよう働きかけることはできないので、やはりそれぞれの施設のルールに則って利用を考えていただくことになる。

また、トイレやホールの床、南京錠になっている部屋など、改修の要望も多くいただいている。改善できるところとできないところがあるかもしれないが、長期休館にあわせて、耐震補強工事の他に、利用者の目に見える部分についても改善できるよう努力はしていきたい。

進捗状況としては、設計業者が決まったので、どこの柱をどのように補強するのかなど、現場を確認しながら構造設計を進めている段階にある。

【委員】

設計業者はどこか。

【鈴木館長補佐】

政所設計である。

【委員】

トイレについては、洋式に変えるのか。

【鈴木館長補佐】

便器だけをかえるのではなく、排水管やトイレのブースについても更新したいと考えている。

【委員】

洋式も視野にいれているということか。

【曾我教育部長】

洋式化はもちろん、多目的テーブルをどうやってつけていくかなど、そのあたりを考えていかななくてはいけない。

単に今のトイレをきれいにするというだけでなく、大幅に改修するという方向で予算を組んでいきたい。

【委員】

ホールの床も非常に傷んでいるが、修繕する方向か。

【曾我教育部長】

ホールの床についても、使える状況ではないと教育委員会では判断している。どのような修繕の方法にするかは検討している。

【倉田会長】

説明会での利用者の要望は、まとめられた資料があるのか。また、掲載する予定はあるか。

【鈴木館長補佐】

市ホームページに掲載する予定である。

(※市ホームページのトップページ>東村山の楽しみ方>余暇を楽しむ>公民館>中央公民館>中央公民館 平成27年度耐震化工事>平成27年度中央公民館耐震化工事に伴う利用団体説明会(終了しました)のページに掲載。)

【倉田会長】

利用者の生の声は、公民館をこれから運営していくうえで重要なものなので、是非掲載していただきたい。

また、近隣市のホールについては、それぞれの利用のルールがあるので、中央公民館利用者がこれから利用していくうえで難しいところもあると考えられる。各施設のルールがあることについても周知をお願いしたい。

・市民講座・主催事業報告

倉本事業係長より報告。資料 1 参照。

・ロビーコンサート報告

【鈴木館長補佐】

平成 25 年度の 3 月 16 日に行ったところ、参加したいという団体が多くあったため、利用目的の緩和の目的で今年度も行うことになった。参加団体を募集したところ、13 団体からの応募があったため、開催日数を増やし、平成 26 年度では 9 月 7 日、10 月 12 日、1 月 31 日の計三回行う流れとなった。参加団体は 8 団体である。

【委員】

このような取り組みは続けていってほしい。

3 審議事項

・継続審議事項 市民講座について

【倉本事業係長】

市民講座のテーマが、長い間変更されていなかったため、今回、現在のニーズにより近づけるということで、変更を提案したい。ジェンダーフリーの推進というテーマを、男女平等参画の推進へ、また、国際理解・協力というテーマを、文化・交流を学ぶ、へ変更したいと考えている。委員の意見を伺いたい。

【委員 A】

世界的にはジェンダーフリーという言葉はまだ使われているが、男女共同参画推進委員会をはじめ、国内では、ジェンダーフリーという言葉は現在あまり使われていない。

【委員 B】

男女平等参画、といった場合に、性同一性障害の方たちをどう受け入れていくことができるのかという問題があると思う。ジェンダーといった場合であれば含めることができるが、男女平等参画という言葉では難しい。より広い問題を扱えるジェンダーフリーという言葉を使ったほうがよいのではないか。

【委員 A】

震災の後、防災の面でも女性の視点が欠けていることが明らかになった。男女が平等になることはもちろん、男女共同参画を推進していく必要があると感じる。ただ、男女平等参画、という言葉はあまりなじみがないので、男女共同参画の推進、でよいと思う。

【倉田会長】

文化交流を学ぶというテーマだが、市も掲げている多文化共生という言葉にしたほうがわかりやすい。

【委員 A】

国際理解・協力というテーマだが、協力まで踏み込む必要はないかと思う。公民館で、国際理解のために文化と交流を学ぶ。そこから協力へは、それぞれつながっていけばよいので、テーマとして協力まで扱わなくてもよい。

【倉田会長】

国際理解というテーマにすると、ターゲットが広くなりすぎるので、もっとしぼったほうがよいかと思う。市としても推進している多文化共生という言葉で、身近なところでやっていければよいのでは。

【委員 B】

多文化共生の推進と、国際理解協力は違うものだと思う。どちらも必要なので、両方残しておけばよいのでは。

4 その他

- ・閉会あいさつ

倉田会長、前田公民館長より。

【倉田会長】

第 17 期公民館運営審議会は今回で終了し、11 月からは第 18 期がはじまる。二年間ありがとうございました。

- ・次回日程について

【鈴木館長補佐】

第 18 期第一回の日程については、会長と相談の上決定する。

問 合 わ せ 先

教育部公民館

担当者名 小山

電 話 番 号 042-395-7511

ファクス番号 042-395-7515